



# RPAで広がる冷媒管理DX ~RaMSとのスマート連携~

《 RPA導入済企業様向けのご提案 》

→ 法令遵守・業務効率・経営判断を同時に支える 『これからの冷媒管理』 へ



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構  
Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

# 貴社の冷媒情報を一元管理するクラウドセンター = RaMS

冷媒管理に必要な情報（機器管理・点検・整備・漏えい・回収記録など）をクラウド上で一元管理。

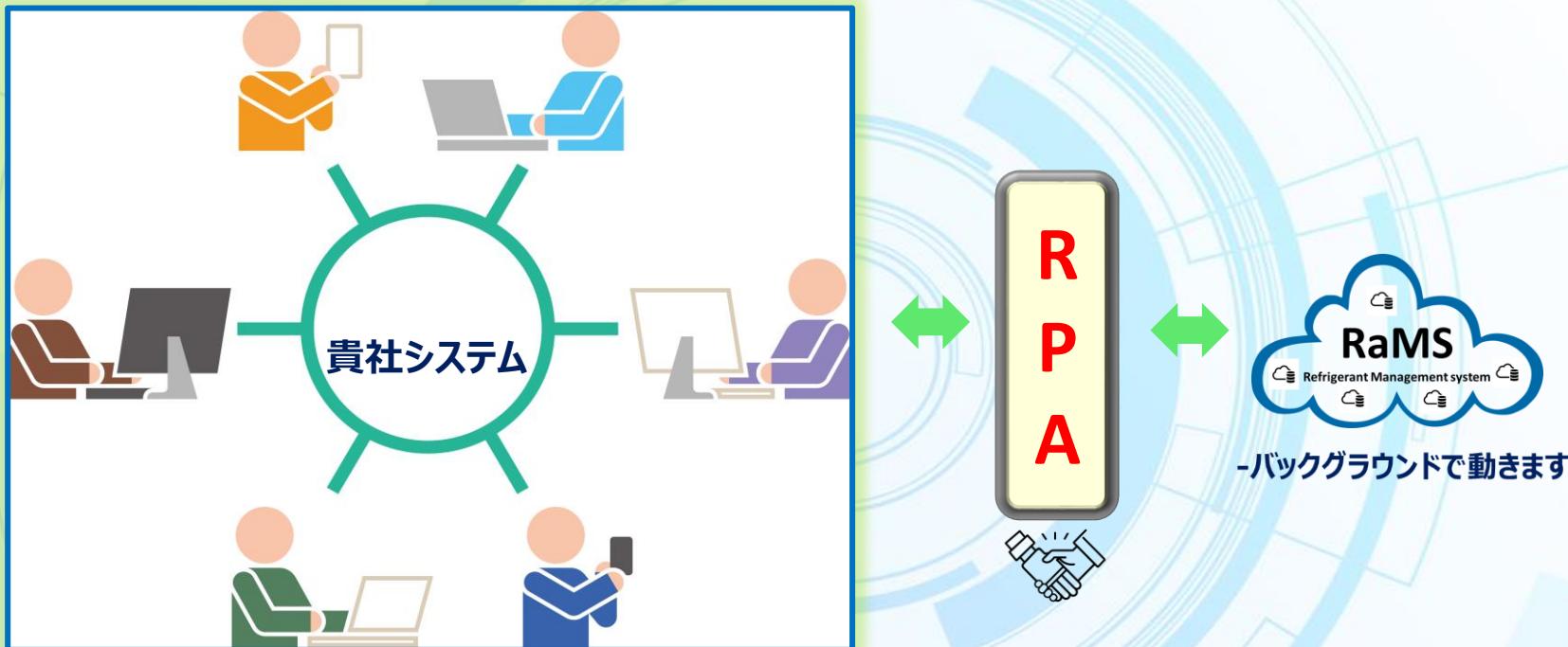
1. 貴社の業務にそのままなじむRaMS連携
2. RPAと組み合わせることで定型業務の自動化も実現
3. 情報の集約・可視化により、法令遵守・業務効率化・経営判断支援を同時に実現



RaMSはRPAとの連携により「属人的な冷媒管理」から脱却し、「業務に自然に組み込まれる冷媒戦略のプラットフォーム」へ進化します。

# RaMSを貴社冷媒管理に取り入れてみませんか？

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）経由でRaMSと接続頂ければ  
貴社システムが冷媒管理を実行しているかのようになります



まとめ：すでにRPAを導入されている企業様は、冷媒管理にもその活用を広げることで、  
管理業務の効率化とコンプライアンスの強化を同時に実現できます。

## 導入前に知っておきたいポイント

1. 貴社でRPAツールの導入が必要です…RPAは「人間によるPC操作を自動化するソフトウェアツール」の総称です
2. RaMS操作の自動化には、貴社でRPAシナリオをご設定いただく運用になります

注：API連携は非対応（非侵襲型（既存システムを壊さない））のため、画面操作の模倣によるRPA連携が主流です

# 【RaMS×RPA活用による業務最適化事例(A社での成功事例)】

- 背景：業務量増加により、現場での法令対応や冷媒管理での確認・集計作業や報告対応に負荷が集中
- 対応：RaMSを活用した情報一元管理 + RPAによる報告書作成の自動化
- 実施内容：
  - ・点検結果データ → RPAで自動抽出
  - ・報告書様式に自動入力・保存（人手作業ゼロ）
  - ・月次や法令報告向けデータ整理を自動化



- 効果：
  - ・作業時間 大幅削減（※実際の削減効果は業務内容や設定範囲により異なります）
  - ・報告業務の標準化・引き継ぎ容易化、現場負担軽減
  - ・他拠点やグループ企業への展開も視野に入れたスケーラビリティあり

◎ ポイント：RaMSの画面設計がRPAでの操作に向いており、RPA導入がスムーズに進行